

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32131	スポーツシティまつやま推進事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	2
42211	社会体育振興事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	4
42211	市民スポーツ活動活性化事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	6
42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	8
42213	野外活動センター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	10
42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	12
42213	総合コミュニティセンター建物改修事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	14
42213	スポーツセンター管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	15
42213	中島B&G海洋センター	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	17
42213	体育施設管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	18
42213	中央公園管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	20
42213	野球歴史資料館維持管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	22
42213	中央公園改修整備事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	23
42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートB	25
44211	松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	27
44211	文化スポーツ振興事業補助金	坂の上の雲まちづくり部	スポーツシティ推進課	シートA	28

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングシティ推進課	担当グループ名	プロ・コンベンション担当	連絡先	948-6889			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	橋田 佳奈美	主事	西岡 直哉
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングシティ推進課	担当グループ名	プロ・コンベンション担当	連絡先	948-6889			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	橋田 佳奈美	主事	西岡 直哉

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32131	スポーツイングシティまつやま推進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	113	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト	
施策	選ばれた都市づくり					市長公約	231	主な取り組み	スポーツイングシティまつやまの推進	
主な取り組み	スポーツによる地域活性化の推進							誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります		
取り組みの柱	野球やサッカーなどのスポーツの支援事業とおとし、交流人口の増加や地域経済の活性化を図ります。					取組み	231	スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、併都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。		
総合戦略	3242	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)					② 東京オリンピック・パラリンピックなど世界大会の開催を契機とした海外チームの事前合宿誘致に取り組みほか、地元プロスポーツチームへの誘客支援を継続して行います。また、坊っちゃんスタジアムをはじめとするスポーツ関連施設の充実を図り、地域住民の来場機会の増加や新たな大会・合宿誘致に取り組みます。		
政策	②産業の競争力強化(業種別取組)									
施策	④文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用したビジネス創出									
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り					

根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	プロスポーツの支援をはじめ、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ひとを応援し、競技人口の拡大や観光施策とも連携させ交流人口の拡大、更には地域経済の活性化など「まち」、「ひと」の元気・活力の創出を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	本事業は、地域再生の一環として、『『坂の上の雲』のまち再生計画』の目標に掲げる観光交流人口500万人から600万人への拡大に向け、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化など、「スポーツで「ひと」、「まち」を元気にする!」という目的を掲げ、平成17年度から(財)地域総合整備財団の「地域再生マネージャー事業」を活用しスタートした。平成19年度から重点事業に認定され、平成20年度から「スポーツイングシティまつやま推進事業」として実施し、現在に至っている。								
対象・事業内容(誰に対して、何をとするのか)	東京ヤクルトスワローズの公式戦及び秋季キャンプの継続誘致。 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援を行う。 スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用したスポーツコンベンション誘致活動を行う。 大会や合宿誘致に向けたスポーツ情報サイトの運営管理を行う。 台北市との友好交流協定を基にしたスポーツ交流を推進する。 東京オリンピックを契機とした諸外国のスポーツ合宿誘致を行う。 オリンピック聖火リレー 松山点火セレモニー、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルを行う。 全国規模のスポーツ大会や合宿の運営協力及び誘致を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R3 予算措置時期	当初	
				R2年度			R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				86,949			115,620			85,551	
決算額(B)(単位:千円)				31,075			59,493				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳 R4→予算内訳	国支出金		7,906			11,650			11,650		
	県支出金		0			0			0		
	市債		0			0			0		
	その他		156			7,551			10,220		
一般財源		23,013			40,292			63,681			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				負担金 39,337千円 委託料 8,985千円 広告料 3,200千円			負担金 59,980千円 補助金 7,000千円 委託料 3,737千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		55,874			56,127				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	プロ野球公式戦「東京ヤクルトスワローズ対読売ジャイアンツ」の開催 東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの受入(コロナのため中止) フレッシュオールスターの開催 六大学野球オールスターの開催(コロナのため中止) 松山国際スポーツ交流事業(台北市:野球、マラソン、ドラゴンボートレース、サッカー)(コロナのため中止) 東京2020オリンピック聖火リレー 松山点火セレモニー、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの実施 東京オリンピック事前合宿誘致(モザンビーク:パラ陸上 実施)、(台湾:マラソン、女子サッカー、パラ柔道 マレーシア:バドミントン モザンビーク:陸上、ボクシング、空手等 コロナのため中止) 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援								
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染拡大防止の為、松山国際スポーツ交流事業やオリンピックの事前合宿誘致など、多くの事業が中止となったが、地元プロスポーツ球団への集客支援事業は、競技団体等の協力により実施でき、試合を盛り上げることができた。また、ガールズトーナメント等、誘致大会を開催したことで、交流人口の拡大に繋がった。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		地方球場では初となる3回目のプロ野球オールスターゲーム2022を誘致したことで、今後の公式戦開催も含め競技力の向上や交流人口の拡大が見込める。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響から、本市で開催予定であった各種スポーツ大会や合宿等が中止、延期となった。大会等を実施する際には、感染症対策を徹底し、参加選手や関係者の安全を確保した運営が必要となる。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、関係団体等と連携し、感染症対策を徹底する。また、スポーツ活動を停滞させないよう、コロナ収束後を見据え、大会等の誘致活動に取り組む。		
R4年度の目標	地元プロスポーツの集客数: 120,000人 スポーツ交流件数及び合宿受入件数: 10件 スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用した大会等誘致件数: 40件 東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数: 20,000人			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			プロ野球公式戦の開催 東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの受入 プロ野球オールスターゲームの開催 六大学野球オールスターゲームの開催 松山国際スポーツ交流事業の実施 愛媛FC、愛媛MP、愛媛OVIに関する情報発信・誘客支援 大会・合宿などスポーツコンベンション誘致 女子野球の普及・振興		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	ホストタウンに関連したスポーツ交流件数及び合宿受入件数	件	目標値	10	10	10	10		目標値	10	
			実績値	18	0	2		達成年度	R4年度		
		%	達成度	180	0	20					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	オリンピック開催前年(令和元年度)を最高値として最終年度まで継続させる。				
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため									
	スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用した大会等誘致件数	件	目標値	34	36	38	40		目標値	40	
			実績値	21	3	9		達成年度	R4年度		
		%	達成度	62	8	24					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	現在の実績値から可能な最高値を設定				
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため									
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方	現在の実績値から可能な最高値を設定					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	地元プロスポーツの集約数	人	目標値	117,000	118,000	119,000			目標値	119,000	
			実績値	112,856	42,830	51,879		達成年度	R3年度		
		%	達成度	96	36	44					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	現在の実績値から可能な最高値を設定				
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため									
	東京ヤクルトスワローズ公式戦1試合当たりの集客数	人	目標値	18,500	19,000	19,500			目標値	19,500	
			実績値	19,424	0	11,387		達成年度	R3年度		
		%	達成度	105	0	58					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	現在の実績値から可能な最高値を設定				
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため									
プロスポーツの観客数	人	目標値	—	—	—	155,000		目標値	155,000		
		実績値	—	—	—		達成年度	R4年度			
	%	達成度	—	—	—						
指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	現在の実績値から可能な最高値を設定					
本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	大会・合宿等について、新型コロナウイルスの影響により、開催中止や規模縮小となったため未達成。									
	成果指標	新型コロナウイルスの影響による試合数の減少や入場規制等のため未達成。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	事業実施による交流人口と地域経済効果										

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	家申 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	主事	藤田 凱己	主事	宇都宮 大地
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事	吉川 英里	主事	藤田 凱己

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	社会体育振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5.補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります	
取り組みの柱	小中学校の体育館・グラウンドの開放や、公民館対抗のスポーツ大会などを行うほか、積極的な情報発信により、ライフステージに応じた市民の健康増進や体力の向上に寄与する地域スポーツ活動の活性化を図ります。				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、俳都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。	
総合戦略	4231	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	① スポーツを通じて、市民の健康維持・増進や地域相互の親睦・交流等を深めるため、市民体育祭や松山市長旗杯大会等の開催を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康の維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。		
		政策 ②生活の質と都市力の向上				
		施策 ③誰もが楽しめるスポーツ・文化の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1.有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2.無し		

根拠法令,条例,個別計画等

事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツの振興・普及を図るために各種大会に対し、様々な支援を行い、スポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	より多くの笑顔が増えるよう、平成24年度より、スポーツで優秀な成績を収めた選手や指導者を対象に「まつやまスポーツ笑顔大賞」を創設した。 ・平成17年に旧中島町との合併に伴い、旧中島町が開催していた「トライアスロン中島大会」の開催・運営を引き継いだことにより、大会運営に参画している。 ・既存の大会としてあった「愛媛マラソン」を、平成22年の第48回大会より、アスリートマラソンの大会から、市民マラソンの大会として開催するにあたり、主催者として大会運営に参画している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】 広告料:野球クラブチーム(松山フェニックス・マドンナ松山) 負担金交付先:愛媛マラソン実行委員会、トライアスロン中島大会実行委員会、令和4年度全国高等学校総合体育大会松山市実行委員会 補助金交付先:全国大会に出場する小中学生 【事業内容】 ・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・愛媛マラソンや中島トライアスロン大会開催の際に負担金等の補助を行う。 ・全国高等学校総合体育大会を松山市で3競技開催するにあたり、準備経費を負担する。					
受益者負担の状況	負担の有無	1.有り	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由		
			愛媛マラソンやトライアスロン中島大会への参加費			
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別
	2.事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		目	社会体育総務費	R3 予算措置時期	当初
				項	保健体育費				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					20,441		31,987		79,699
決算額(B)(単位:千円)					15,246		22,391		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				15,246		22,391		79,699
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				全国大会出場激励金:2,855千円 トライアスロン中島大会開催負担金:148千円 全国高校総体実行委員会負担金:1,945千円		全国大会出場激励金:6,150千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円 全国高校総体実行委員会負担金:53,011千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				予備費充用(2,000千円) 流用(△12千円)					
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		5,195		9,596		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・市民が取り組む各種大会の後援を行った。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行った。 ・大規模なスポーツ大会に対して必要経費補助等を行った。 ・令和4年度に四国で開催される全国高等学校総合体育大会に向け、松山市で開催する3競技の準備を行った。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定どおり大会運営ができなかったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1.貢献している	左記の理由		各種の取り組みにより市民のスポーツへの振興・普及が図られているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で本市が後援しているスポーツ大会が中止や延期となっている。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	各大会については、新型コロナウイルス感染症状況を注視し開催可否について関係機関と連携し適正に判断する必要がある。		
R4年度の目標	愛媛マラソン抽選エントリー申込者数22,500人を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・愛媛マラソン実行委員会と連携し、広く大会の周知を行う。 ・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)	愛媛マラソン抽選エントリー申込者数	人	目標値	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	目標値	22,500
				実績値	24,396	0	16,141			達成年度	—
達成度				108	0	72					
指標の種類		5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		当初の目標設定は、定員増を加味して目標値を設定していたが、現状の実行委員会では、定員増を考えてはいないため、現状維持とした。				
本指標の設定理由		愛媛マラソンの人気を把握できる数値であるため									
愛媛マラソンの経済効果		千円	目標値	493,100	493,100	493,100	493,100	493,100	目標値	493,100	
			実績値	583,000	0	0			達成年度	—	
			達成度	118	0	0					
指標の種類		5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		当初の目標設定は、定員増を加味して目標値を設定していたが、現状の実行委員会では、定員増を考えてはいないため、現状維持とした。				
本指標の設定理由		愛媛マラソンが地域経済の活性化にどのくらい寄与しているのかの指標となるため。									
トライアスロン中島大会申込者数		人	目標値	625	625	625	625	625	目標値	625	
			実績値	438	0	0			達成年度	—	
	達成度		70	0	0						
指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		本大会は30回を超える歴史ある大会であり、かつては愛媛県内唯一のトライアスロン大会であった。しかし、平成24年度以降に、愛南町、伊予市、今治市で日本トライアスロン連合公認の大会が開催されるようになり、選手にとって大会の選択肢が大幅に広がったため、平成25年度の実績値を現状維持とする目標設定とした。					
本指標の設定理由	トライアスロン中島大会の人気を把握できる数値であるため。										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	昨年度は、令和2年度から2年連続で愛媛マラソン及びトライアスロン中島大会ともに、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	本田 誠	担当者名	主任	高橋 祥和	主事	藤田 凱己
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	本田 誠	担当者名	主事	吉川 英里	主事	藤田 凱己

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	市民スポーツ活動活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	小中学校の体育館・グラウンドの開放や、公民館対抗のスポーツ大会などを行うほか、積極的な情報発信により、ライフステージに応じた市民の健康増進や体力の向上に寄与する地域スポーツ活動の活性化を図ります。			-		
総合戦略	4231	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	① スポーツを通じて、市民の健康維持・増進や地域相互の親睦・交流等を深めるため、市民体育祭や松山市長旗杯大会等の開催を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康の維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。		
		政策 ②生活の質と都市力の向上				
		施策 ③誰もが楽しめるスポーツ・文化の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図ること、また、本市でのスポーツの推進と発展に寄与し、市民生活を明るく豊かにすることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図るため、「松山市民体育祭実行委員会」を設立し、昭和55年から市民体育祭を運営している。また、広く市民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚させることにより、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにするため、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」を設立し、平成25年度から市民のスポーツ振興を積極的に支援している。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:市民 負担金交付先:松山市民体育祭実行委員会、松山市長旗杯大会開催支援実行委員会 事業内容:「松山市民体育祭実行委員会」に負担金を支出し、市民体育祭を開催している。松山市長旗杯大会を開催している各種団体に対して、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」が継続して大会が開催できるよう支援している。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進を図るもので、運営が困難な大会等を支援することから、負担はない。			
始期・終期(年度)	昭和	55	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R3	予算措置時期	当初
									4年度	R4年度	
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						5,108	4,663		4,510		
決算額(B)(単位:千円)						203	1,082				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					0	0		0		
	県支出金					0	0		0		
	市債					0	0		0		
	その他					0	0		0		
	一般財源					203	1,082		4,510		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算						報償費:378千円 負担金:410千円(市民体育祭実行委員会)		報償費:579千円 負担金:3,550千円(市民体育祭実行委員会・松山市長)			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		4,905	3,581				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市長旗杯大会11大会へ開催支援を行った。また、公民館対抗スポーツ大会として、ソフトボール大会、グランド・ゴルフ大会、ベタンク大会の3大会を開催した。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた事業を実施することができなかったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	松山市長旗杯大会を開催することで、スポーツを通じた交流機運が高まっているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、市内で開催予定であったスポーツ大会の中止や延期等があった。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、関係機関と連携して、公民館対抗スポーツ大会や市民体育祭の開催可否について適正に判断する必要がある。	
R4年度の目標	・公民館対抗スポーツ大会の参加者数2600人を目指す。 ・松山市長旗杯大会の開催支援として40大会の支援を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・公民館やスポーツ推進委員と連携し、市民スポーツ大会を開催 ・市民体育祭の開催 ・松山市長旗杯大会の開催支援	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市長旗杯スポーツ大会の開催数	大会	目標値	40	40	40	40	23	目標値	23	
			実績値	17	13	11		達成年度	R6		
		%	達成度	43	33	28					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。							第6次松山市総合計画の指標で、同様の目標設定を行っている。		
	活動指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
	活動指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	公民館対抗スポーツ大会の参加者数	人	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	目標値	2,600	
			実績値	2,368	0	715			達成年度	R6	
		%	達成度								
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。							公民館対抗スポーツ大会のうち、バレーボールとソフトボール大会は50回以上開催してきた歴史があり、大会の競技レベルが高く、未経験者が参加しにくい状況があり、参加チーム数が減少傾向にあるため、現状維持を目標とした。		
	成果指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	各種大会も支援を行ってきたが、えひめ国体・えひめ大会を目標にしてきた大会が多く、現在は支援大会数が減少傾向にある。今後は支援方法等を再検討し、新規に行われる大会への支援等を行う。									
	成果指標	公民館対抗スポーツ大会は、市民体育祭を営み、年5大会を実施している。これ以上の大会の増加は、公民館活動との調整の観点から困難であり、現在の大会開催を維持し、質を高めていくことで多くの市民参加を促進している。令和3年度は、市民体育祭とバレーボール大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、他3大会のみ開催した。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	主事 宇都宮 大地
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	主幹	担当者名	主事 古茂田 修一

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	スポーツ少年団への支援として、全国大会などに出場する選手への激励金を支給するほか、加入を促進するために、スポーツ体験活動による児童の育成などを行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に各種事業に取り組んでいる「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に運営補助を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に「公益財団法人 松山市体育協会」が昭和57年に設立され、各種事業を行っているが、運営が厳しい状況であるため、補助が必要である。(平成30年6月から「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に名称変更)					
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	補助金交付先:公益財団法人 松山市スポーツ協会 市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に次の各種事業を実施している、「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に補助金を支出する。 1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	教室事業等は参加費徴収あり		
始期・終期(年度)	昭和 60 ~ 令和 3	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	R3 予算措置時期	当初
									R2年度	R3年度
現計予算額(A) (単位:千円)						54,922		50,056		0
決算額(B) (単位:千円)						33,410		35,962		
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			33,410		35,962		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							松山市スポーツ協会運営補助金35,962千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								令和4年4月1日に松山市スポーツ協会と松山市文化・スポーツ振興財団が合併したことにより事業廃止。		
予算執行残額 (単位:千円)			(A)-(B)			21,512		14,094		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」の運営に対して補助金を交付した。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業があった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	多くの市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することができた。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定どおり事業の実施が出来ていない。スポーツ少年団の活動も学校施設等の利用制限や活動制限が出されるなど練習や試合ができない期間が生じている。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			
R4年度の目標			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①スポーツ少年団登録者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500			目標値	3,500	
			実績値	2,861	2,639	2,570			達成年度	R4	
			達成度	82	75	73					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		少子化が進行する中、当初の目標を維持する。				
	本指標の設定理由	スポーツ少年団登録者数の推移を計る指標となるため。									
	②公認スポーツ指導員とスポーツ少年団指導者数	人	目標値	950	1,050	1,150			目標値	1,250	
			実績値	868	870	926			達成年度	R4	
			達成度	91	83	81					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画の指標で、同様の目標設定を行っている。				
	本指標の設定理由	スポーツ活動の支援体制の充実度を示す指標であるため。									
	③まつやまキッズスポーツクラブ「つばさ」の延べ参加者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100			目標値	1,100	
			実績値	743	0	381			達成年度	R4	
達成度			68	0	35						
指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		少子化が進行する中、当初の目標を維持する。					
本指標の設定理由	スポーツを日常的に行う子供の数を計る指標であり、「つばさ」の効果を図る指標となるため。										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	①登録者の減少は、少子化や新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ活動の制限が原因と考えられる。 ②新型コロナウイルス感染症の影響で活動機会の減少や養成講習会の実施ができなかったことが、取得者・資格更新者の減少につながったと思われる。 ③スポーツ施設の使用制限があり、計画の半分(5/10回)しか実施できなかったため、参加者数が低下している。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	公益財団法人松山市スポーツ協会が事業を行うため活動指標については設定しない。										

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	主任	伊藤 慎弥	
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	伊藤 慎弥	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則					
事業の目的(どのような状態にするか)	野外活動及びスポーツ施設の拠点として、スポーツ・レクリエーションや豊かな自然に触れ合うことのできる場を提供し、市民の健康維持・増進に寄与する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成元年7月のキャンプゾーン一部オープンを皮切りに順次整備を進め、平成10年4月にレクリエーション施設として全面オープンした。レインボーハイランドとして親しまれ、管理運営を(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が行っている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象>スクールゾーン、キャンプゾーン、アドベンチャーゾーンの3つのゾーンで構成されており、子供から大人まで楽しめる野外活動センター施設となっている。 <事業内容> ・平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		目	野外活動センター費	R3 予算措置時期	当初
				項		目					
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				211,542		209,989		265,135			
決算額(B)(単位:千円)				187,814		189,818					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		695		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		17,700			
	その他			15,484		18,905		27,959			
一般財源			172,330		170,218		219,476				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算						委託料(指定管理料):183,570千円 工事請負費:4,774千円		委託料(指定管理料):202,259千円 工事請負費:62,750千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		23,728		20,171			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・キャンプゾーン街灯柱塗装改修工事 ・駐車場街灯柱塗装改修工事 ・野外ステージ鉄部塗装改修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響であったが、利便性向上につながる取組や魅力ある自主事業を行うなど、適切な維持管理を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	自然を身近に感じるとともに市民の健康維持・増進に寄与する施設として必要不可欠であると考えられるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用に制限をかけたり、利用できない施設がある期間があり、平時と比較して利用者や使用料収入が減少している。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の影響により、離れてしまった利用者呼び戻すための魅力ある施設運営に努める必要がある。また、運営に際して新型コロナウイルス感染症に対応した施設運営が求められる。	
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少している。私たちは、通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入26,200千円を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・(公財)松山市文化・スポーツ財団への指定管理による施設維持管理 ・体育館外壁改修工事 ・井水処理設備改修工事	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	営業日数	日	目標値	321	320	319	321	320	目標値	321	
			実績値	335	296	322			達成年度	R4年度	
			% 達成度	104%	93%	101%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日数は変動するため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	26,000	31,360	33,200	35,080	37,000	目標値	37,000	
			実績値	27,581	15,484	17,757			達成年度	R5年度	
			% 達成度	106%	49%	53%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け一部利用を制限した施設はあったが達成できた。									
	成果指標	一部施設を閉鎖した状態での営業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、使用料収入の目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	家申 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	大野 精毅	担当者名	副主幹	青木 琢也
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	田中 晋和	担当者名	主査	青木 琢也

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	42213	総合コミュニティセンター管理運営事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化					主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進				市長公約	-			
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市総合コミュニティセンター条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市総合コミュニティセンターは市のスポーツ・レクリエーション・文化振興・生涯学習の活動中核拠点である。同センターの管理・運営を指定管理により行い、教育文化の振興や市民の健康増進、市民福祉の高揚に寄与する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	令和元年度から令和5年3月31日までの5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。								
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由		松山市総合コミュニティセンター条例				
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	総合コミュニティセンター費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	項	R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						644,270			631,954		662,750
決算額(B)(単位:千円)						605,699			568,490		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			1,051			1,655		2,994
			県支出金			0					
			市債			0					
			その他			111,147			130,199		164,100
			一般財源			493,501			436,636		495,656
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								委託料(指定管理料):559,285千円 工事請負費:3,533千円		委託料(指定管理料):653,911千円 工事請負費:4,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)					(A)-(B)	38,571			63,464		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として管理・運営を委託										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響があったが、年間を通じて円滑な運営管理が行われた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数や使用料収入が減少しているため、利用者数の回復に努める必要がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			利用者数の回復のために、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、魅力ある施設の運営に努める。			
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症影響により、施設利用を制限したことにより利用者数が減少した。今後は感染症対策を十分に行いながら、利用者数の回復のために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入199,505千円を目指す。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	319	317	319	318	320	目標値	318	
			実績値	324	293	313			達成年度	R4年度	
			% 達成度	101%	92%	98%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日数は変動するため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	198,653	198,940	199,221	199,505	199,792	目標値	199,792	
			実績値	226,624	106,676	126,119			達成年度	R5年度	
			% 達成度	114%	54%	63%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響等により、休館日におけるイベントなどの施設利用が例年より少なかったため達成することができなかった。									
	成果指標	一部施設の利用制限した状態での営業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、使用料収入の目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	家申 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	青木 琢也	
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	青木 琢也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	総合コミュニティセンター建物改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市総合コミュニティセンター条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	建設後約30年を迎え、老朽化が進んでいる施設を、適宜改修や更新により、市民が安全で安心して活用できる施設として維持・管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市民が安心して利用できるようにするため、松山市総合コミュニティセンターの計画的な老朽化対策として、大和コンストラクション株式会社ほか2者へ工事請負費を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	総合コミュニティセンター費	R3予算措置時期	当初	繰越
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)					105,700				143,110			99,292
決算額(B)(単位:千円)					34,650				101,406			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0			0
			県支出金		0				0			0
			市債		31,100				50,300			65,400
			その他		0				0			0
			一般財源		3,550				51,106			33,892
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								工事請負費:101,406千円			工事請負費:99,292千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								決算額のうち55,914千円は前年度繰越分			予算額のうち26,567千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		71,050			41,704				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	こども館と企画展示ホールの外壁・防水改修工事、体育館の温水ボイラー更新工事、コミュニティセンター内の防火シャッター改修工事を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者と協議しながら、利用者に配慮した工事の実施ができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、利用者の安全かつ安心して利用できる環境づくりに繋がっている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し		
R4年度の目標	施設の機能を維持するために、改修・修繕を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	文化ホール、研修会議棟及び図書館の外壁・防水改修工事を行う。		

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	主事	井上 真衣
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	伊藤 慎弥

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	スポーツセンター管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市北部地域のスポーツ拠点として、市民にスポーツ活動・レクリエーション活動を行える場所を提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年1月に旧北条市との合併により、旧北条スポーツセンター及び北条体育館が松山市の管理施設となった。現在の北条スポーツセンターは、平成19年7月に球技場の供用開始を皮切りに順次供用し、平成23年4月には体育館を供用開始して第1期整備は完了した。次いで、第2期整備として平成28年4月に野球場を供用開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象>北条スポーツセンター及び北条体育館 <事業内容> ・平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				141,931			109,685		150,458	
決算額(B)(単位:千円)				134,769			103,222			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			126			476		0	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		0	
	その他			13,665			14,471		17,000	
一般財源			120,978			88,275		133,458		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料(指定管理料):95,217千円 工事請負:6,245千円		委託料(指定管理料):104,011千円 工事請負:46,247千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			7,162		6,463	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団を指定管理者として、北条スポーツセンター及び北条体育館を管理・運営 ・野球場南コンクリート水路破損補修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、年間を通じて円滑な運営管理が行えた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設運営が行われ、市民の円滑な利用に繋がっているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、施設利用者数や使用料収入の低下。			環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症に対応しながら、利用者数確保のために円滑な維持管理に努める。
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用を停止したことにより利用者数が減少している。私たちは、通常運営に戻すために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入17,730千円を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・北条スポーツセンター野球場法面改修工事 ・北条スポーツセンターフットサル場人工芝改修工事

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	359	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	360	333	359			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	93	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	大型工事等の影響で基本の開館日数は変動するため、毎年度目標値を定める。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	19,500	17,500	17,580	17,730	17,910	目標値	17,910	
			実績値	17,001	11,496	13,252			達成年度	R5年度	
		%	達成度	87	66	75					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。				
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	利用制限やマスク着用など感染症対策を徹底した上での運営で目標を達成できた。									
	成果指標	屋外施設が天候の影響を受けやすいことや、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、使用料収入の目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツエンゲージメント推進課	担当グループ名	施設担当	連絡先	997-2211			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リダ-名	主幹	担当者名	主幹	中藤 敏也	主任	新藤 成人
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツエンゲージメント推進課	担当グループ名	施設担当	連絡先	997-2211			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リダ-名	副主幹	担当者名	主幹	中藤 敏也	主任	新藤 成人

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中島B&G海洋センター	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進						
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。		市長公約				
総合戦略	基本目標	-	取組み				
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	中島B&G海洋センターは、体育館(アリーナ・トレーニングルーム・ミーティングルーム)と、プールを持つスポーツレクリエーションの総合施設であり、市民の健康増進につながる様々なイベントやスポーツ教室を年間を通して開設している。また、海洋スポーツ等を通じた青少年の健全育成を促進するため、海洋クラブ活動を年間25回程度実施している。さらに、夏季には海に親しむ機会を作ってもらうため、海洋性レクリエーション指導員の派遣を行っている。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年に公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団により建設され、昭和62年に旧中島町に無償譲渡された。平成17年に松山市と合併し、松山市中島B&G海洋センターとして運営中。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	(対象) ・施設の貸出や、健康増進につながるイベント・教室の開催は、主に中島に住む住民が対象である。海洋クラブ活動は、主に中島の小中学生(島外からも23名参加)が対象である。海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントは、主に松山市主催事業の参加者(島外小中学生)が対象である。 (事業内容) ・体育館・プール(夏季限定)施設の維持管理と市民への貸出業務 ・年間を通じて様々なスポーツイベントを開催 ・海洋クラブの充実(海洋性スポーツ等を通じた青少年の健全育成) ・B&G財団との連携による各種事業の開催 ・中島で開催される各種事業との連携(体験型の海洋性スポーツを実施)						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市体育施設条例に使用料の定めあり			
始期・終期(年度)	昭和	59	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費	目	体育施設費	R3予算措置時期	当初	
				項							
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						8,442	10,069		43,991		
決算額(B)(単位:千円)						6,056	8,015				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳 R4→予算内訳	国支出金				0	0		0			
	県支出金				0	0		0			
	市債				0	0		0			
	その他				223	217		260			
一般財源				5,833	7,798		43,731				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						・委託料:3,474千円 ・工事請負費:989千円		・委託料:3,686千円 ・工事請負費:33,170千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		2,386	2,054				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントの実施 ・島以外からも海洋クラブへの参加者を募る ・B&G財団主催イベントへの積極的な参加 ・他課及び他団体との連携による海洋性スポーツの普及活動					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・センター評価が14年連続特Aを維持し、それに伴いB&G財団からの舟艇再配備事業や修繕助成等のB&G財団からの高い助成率を得られた。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設の閉館や事業の中止延期し、施設利用者が一昨年度を下回った		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		通常であれば、スポーツ、健康維持の施設として年間約10,000人以上に利用されており、延いては離島振興に貢献している。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・当センターは昭和59年ころ建設され、外壁修繕工事をR1年度に行ったものの機器類も含め全体的に経年劣化が進んでいる。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、施設の閉館や海洋センター主催事業等の中止延期等も考えられる為、施設利用者の減少や施設利用者に対する感染予防対策の徹底が懸念される。 ・島しょ部のため高齢化、人口減少も進んでおり、利用者の確保が課題である。 ・スポーツを通じた市民の憩いの場であると同時に、健康増進の拠点としての役割を果たしていく。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底や安全管理マニュアルを作成し、安心・安全な施設を維持し、施設利用者数の増加を図る。 ・社会教育等との連携や新規事業の実施等により、センター利用者の増加を図る。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		・愛媛県B&G連絡協議会主催のスポーツ大会等への積極的な参加 ・夏季イベントを行う他課と連携し、海洋性レクリエーション体験等を実施する。 ・小中学校と連携した行事の開催に努める ・新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数減の状況から回復傾向にある。安心して利用できる施設管理に努め、利用者数の増加を目指す。
R4年度の目標				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・プールを含む体育施設の貸館業務 ・海洋性レクリエーション(体験イベント)の実施 ・新たなスポーツ教室の開催 ・電気設備改修工事の実施

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598
	部等長名	家申 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	主事 内原 大智
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 田中 光弘

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	体育施設管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例,松山市体育施設管理条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	体育施設を円滑に維持管理し、充実したスポーツ施設を市民に提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	利用者が目的に応じ安心して気軽にスポーツを楽しむほか、市民のレクリエーション活動や憩いの場として活用するために順次開設し、維持管理を行っている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<対象>・別府市民運動広場:昭和58年・拓川市民運動広場:昭和60年・空港東第四公園テニスコート:平成元年・湯月公園テニスコート:昭和28年・重信川ソフトボール広場:昭和54年・河野別府公園体育施設・市民グラウンド:平成元年、サブグラウンド:平成6年、テニスコート:平成2年・北条公園(北橋運動広場):昭和52年 <事業内容>施設の運営・維持管理や改修工事等を行っている。 ・施設の運営・維持管理のための指定管理等に関する事務・各種工事・各種備品等の充実・修繕 ・別府市民運動広場,拓川市民運動広場,空港東第四公園テニスコート,湯月公園テニスコート,重信川ソフトボール広場:奥アンツーカ株式会社へ委託 ・河野別府公園体育施設(市民グラウンド,サブグラウンド,テニスコート):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託・北条公園(北橋運動広場):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例規則に基づく使用料			
始期・終期(年度)	昭和	28	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				74,872		40,653		41,092	
決算額(B)(単位:千円)				71,574		40,301			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			19,900		0		0	
	その他			15,705		16,300		16,863	
	一般財源			35,969		24,001		24,229	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料(指定管理料)37,671千円		備品購入費1,056千円 委託料(指定管理料)37,227千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		3,298		352	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	指定管理等による施設維持管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者と連携し、適切な維持管理を行うことができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業で指定管理しているスポーツ施設の利用者は、年間延べ20万人を超えており、地域スポーツ活動の推進にとって必要不可欠であると考えられるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	昨年度まで新型コロナウイルス感染症等の影響により使用料、利用者数共に減少していた。回復傾向にあるが今後も十分注意したい。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		利用者数確保のため、様々な感染症対策を講じ、安心、安全な施設管理に努める。	
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数減少の状況から回復傾向にある。安心して利用できる施設管理に努め、利用者数の増加を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・指定管理者等による施設の維持管理 ・施設の修繕工事	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	359	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	359	333	359			達成年度	R4年度	
			% 達成度	100%	93%	100%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	工事等の影響で開場日数は変動することがあるため、毎年度目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	16,651	16,587	16,493	16,580	16,802	目標値	16,802	
			実績値	15,614	15,284	15,661			達成年度	R5年度	
			% 達成度	94%	92%	95%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため。(重信川ソフトボール広場を除く)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定通り開場することができ、良好である。									
	成果指標	新型コロナウイルスによる影響と屋外施設であることから天候の影響を受けやすく、使用料収入の目標が達成できなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 部等長名	坂の上の雲まちづくり部 家串 正治	課等名 課等長名	スポーツイングシテ推進課 中矢 章一	担当グループ名 リダ-名 主幹	施設担当グループ 大野 精毅	連絡先 担当者名	948-6598 主事 林 直輝
令和3年度	部局等名 部等長名	坂の上の雲まちづくり部 吉田 健二	課等名 課等長名	スポーツイングシテ推進課 白石 信二	担当グループ名 リダ-名 副主幹	施設担当グループ 田中 晋和	連絡先 担当者名	948-6598 主事 林 直輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	42213	中央公園管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山中央公園体育施設条例、松山中央公園体育施設条例施行規則						
事業の目的 (どのような状態にするか)	スポーツ施設の拠点・スポーツ公園として、スポーツ・レクリエーションの場を提供して、市民の健康維持・増進に寄与する。						
背景 (どのような経緯で開始したか)	平成15年9月に地方自治法の一部改正により、公の施設管理について、指定管理者制度が導入され、それに伴い平成18年度から当施設も導入した。						
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	令和元年度から5年間、指定管理者として松山中央公園の管理・運営を行ってもらうため、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団に指定管理料を支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山中央公園体育施設条例第5条に基づき使用料を定めている。			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				615,531		625,212		640,849		
決算額(B)(単位:千円)				571,094		594,158		640,849		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		372		609		0			
	県支出金		0		0		0			
	市債		0		0		0			
	その他		103,676		111,300		136,660			
	一般財源		467,046		482,249		504,189			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				委託料(指定管理料):551,153千円 工事請負費:27,649千円		委託料(指定管理料):597,897千円 工事請負費:21,148千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		44,437		31,054				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として松山中央公園の管理・運営を委託 ・坊っちゃんスタジアムダッグアウト床改修その他工事 ・アクアパレットDF-2系統デリバントファン修繕工事 ・アクアパレット低温水吸収式冷凍機真空部品交換工事 ・アクアパレット屋内幼児プール残留塩素計更新工事 ・坊っちゃんスタジアムメインスコアボード外部照明用鉄骨解体工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、年間を通じて円滑な運営管理が行われた。		
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者数や使用料収入が減少しているため、利用者数の回復に努める必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	利用者数の回復のために、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、魅力ある施設の運営に努める。		
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用を制限したことで利用者数が減少した。今後は感染症対策を十分に行いながら、利用者数の回復のために適正な施設の管理運営に努め、使用料収入131,400千円を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	320	317	318	320	322	目標値	322	
			実績値	323	293	318			達成年度	R5年度	
		%	達成度	101%	92%	100%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日数は変動するため、毎年度目標値を定める。				
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	125,200	128,100	129,500	131,400	133,400	目標値	133,400	
			実績値	140,421	97,265	104,050			達成年度	R5年度	
		%	達成度	112	76	80					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。				
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部利用を制限した施設はあったが達成できた。									
	成果指標	一部施設の利用を制限した状態での営業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、使用料収入の目標を達成することができなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	家申 正治	課等長名	中矢 章一	リーダー名	主幹	担当者名	主事	林 直輝
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	林 直輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野球歴史資料館維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化		市長公約	主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進						
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。						
総合戦略	基本目標	-	取組み	-			
	政策	-		-			
	施策	-		-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	坊っちゃんスタジアムの施設内に、正岡子規が伝えたと言われる野球の歴史資料館を開館しており、アマチュア野球を中心に貴重な資料等の展示を行っている。野球歴史資料館維持管理事業は、市民はもとより、松山を訪れる野球ファンに来館していただき、愛媛の野球史に興味を持っていただけるよう、展示物を整備することを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	体感ゲーム(バーチャルピッチング)のコーナーは、平成12年の坊っちゃんスタジアムオープン時から設けられていた。そして、平成14年のオールスターゲームが開催されたことを契機に、プロ野球に関する展示が新たに加わったものの、輝かしい成績を収めてきた高校野球や社会人野球といったアマチュア野球に関する資料等を広く市民に閲覧していただく機会や場所はない状況であった。そこで、歴史が深いアマチュア野球を含めた形で、愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという機運が高まったことにより、本事業が開始された。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公益財団法人松山市スポーツ協会に野球歴史資料館の維持管理を委託するため、委託料を支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという経緯から、入場料を徴収することはそぐわないため。			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		中央公園管理費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				7,387		7,267		7,267			
決算額(B)(単位:千円)				6,433		6,478		-			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			34		30		100			
	一般財源			6,399		6,448		7,167			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				-		委託料:6,478千円		委託料:7,267千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		-		-			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		954		789			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公益財団法人松山市スポーツ協会へ野球歴史資料館の維持管理を委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、年間を通じて滞りなく運営を行うことができたため。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	令和3年度の野球歴史資料館の入館者数は、アマチュア野球コーナーとプロ野球コーナーを合わせて、年間延べ約3,500人と、新型コロナウイルスの影響で例年の入館者数と比較すると大きく減少しているが、愛媛の野球を顕彰し後世に引き継いでいくにあたっては、必要不可欠な施設であると考えられる。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響による、入館者数の低下。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	入館者数確保のために、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、円滑な運営管理に努める。	
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少した。今後は感染症対策を十分にしながら、利用者数の回復のために適正な施設の管理運営に努め、入館者数11,800人を目指す。(R3年度入館者数:3,404人)			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・これまでの委託先であった公益財団法人松山市スポーツ協会と(公財)松山市文化・スポーツ振興財団の合併により、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団に野球歴史資料館の維持管理を委託 ・新たな資料等を提供いただける場合の積極的な受入れ	

令和4年度	部局等名 部等長名	坂の上の雲まちづくり部 家串 正治	課等名 課等長名	スポーツインテグリティ推進課 中矢 章一	担当グループ名 リダ-名 主幹	施設担当グループ 大野 精毅	連絡先 担当者名	948-6598 主事 林 直輝
令和3年度	部局等名 部等長名	坂の上の雲まちづくり部 吉田 健二	課等名 課等長名	スポーツインテグリティ推進課 白石 信二	担当グループ名 リダ-名 副主幹	施設担当グループ 田中 晋和	連絡先 担当者名	948-6598 主事 林 直輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	42213	中央公園改修整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化		市長公約	主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進				-	
取り組みの柱	計画的なスポーツ施設の改修などを進めるとともに、利用者の利便性向上に努め、快適に楽しめるスポーツ施設の提供と活用を図ります。				-	
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山中央公園体育施設条例、松山中央公園体育施設条例施行規則					
事業の目的 (どのような状態にするか)	多くの市民等にスポーツ・レクリエーションの場を提供している中央公園体育施設の、安全で快適な施設提供を目的とする。					
背景 (どのような経緯で開始したか)	各施設とも経年劣化による摩耗・劣化が見受けられ、体育施設等の機能を維持するために改修・修繕を行う。					
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	市民が安心して利用できるようにするため、松山中央公園各施設の計画的な老朽化対策として、三徳電機株式会社ほか3者へ工事請負費を支出する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 18	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				944,404		714,761		37,557			
決算額(B)(単位:千円)				372,680		636,858					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		0		224,957		0				
	県支出金		0		0		0				
	市債		326,300		231,000		12,700				
	その他		0		24,000		0				
一般財源		46,380		156,901		24,857					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:636,858千円		工事請負費:22,250千円 委託料:15,307千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち449,914千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		571,724		77,903					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・坊っちゃんスタジアムスコアボード設備更新工事 ・坊っちゃんスタジアムバックスクリーン塗装改修その他工事 ・坊っちゃんスタジアム内野グラウンド改修工事 ・坊っちゃんスタジアム自動火災報知設備改修工事 ・坊っちゃんスタジアム事務室ほか空調機改修工事 ・坊っちゃんスタジアムラバーフェンスほか塗装改修工事 					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者や業者と調整しながら、各工事もともに滞りなく実施することができた。		
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	大規模な改修工事について、利用者に影響が出ない時期等を見据えて取り組むことが必要である。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	大規模な施設改修を円滑に実施していくために、改修計画を整理・検討する。		
R4年度の目標	各施設の機能を維持するために、改修を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。		R4年度の主な取組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・アクアパレット中央監視装置更新工事 ・坊っちゃんスタジアム外壁改修その他工事設計業務委託 		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
達成度											
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
達成度											
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	計画的な施設の改修のほか、随時必要な箇所に対して修繕・改修を実施していく事業であることから、指標が設定できない。										

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リダー名	主幹	本田 誠	担当者名	主任	高橋 祥和	主事	藤田 凱己
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	白石 信二	リダー名	主幹	本田 誠	担当者名	主事	吉川 英里	主事	藤田 凱己

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	指導・支援体制の充実		市長公約	-		
取り組みの柱	スポーツ推進委員(各地区のスポーツコーディネーター)などの協力により、各地区において、スポーツ普及や競技力向上のための指導者や審判員を育成するとともに、スポーツを支えるボランティアの活動支援などを行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	スポーツ基本法					
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員を委嘱し、市民体育祭や各種スポーツ大会の運営や、地域住民に対し、スポーツに関する指導・助言を行うことで、地域のスポーツ振興に努める。					
背景(どのような経緯で開始したか)	1961年に「スポーツ振興法」が制定され同法19条に体育指導員に関する規定が設けられた。2011年に「スポーツ基本法」として改正され同法32条にスポーツ推進委員に関する規定が設けられた。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:各地区の公民館長から推薦された方(定員150名)を、スポーツ推進委員として本市が委嘱している。その活動経費として、松山市スポーツ推進委員協議会に負担金を支出している。協議会では、各種市民スポーツ大会を運営するほか障がい者スポーツやグラウンド・ゴルフ、ベタンク等の研修会を実施している。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 36	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		社会体育総務費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				6,871		6,805		6,806			
決算額(B)(単位:千円)				5,978		5,703		6,796			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		10			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			5,978		5,703		6,796			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				報酬:5,369千円 負担金:117千円 消耗品費:137千円		報酬:5,685千円 負担金:875千円 消耗品費:21千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		893		1,102			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	各公民館長からの推薦により、引き続き各地区にスポーツ推進委員を配置し、スポーツの指導、助言等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響下であるものの、市民スポーツ大会は4競技中3競技を実施することができた。松山市民体育祭については、2年連続開催を中止した。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおりの事業実施が出来なかったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民のスポーツに関する意識の高揚や健康増進につながるため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響で、感染対策を徹底した協議会や大会運営を行うため、松山市スポーツ推進委員協議会総会を书面開催した。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、総会や研修会については、延期や書面決議での対応を行い、協議会の運営に支障をきたさないよう対応する必要がある。	
R4年度の目標	引き続き、スポーツ推進委員が円滑に活動できる補助を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各種市民スポーツ大会の運営やスポーツ推進委員研修会を実施する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
達成度											
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
達成度											
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	スポーツ推進委員協議会の補助をするものであるため、活動・成果指標の設定は行わない。										

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングリッシュ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226
	部等長名	家申 正治	課等長名	中矢 章一	リダー名	主幹	担当者名	主事 宇都宮 大地
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当グループ名	文化振興・施設担当	連絡先	948-6634
	部等長名	吉田 健二	課等長名	石橋 美幸	リダー名	主査	担当者名	主事 安井 李江

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	44211	松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			重点プロジェクト	-	
施策	文化芸術の振興と活用			主な取り組み	-	
主な取り組み	文化芸術活動の継承・推進及び支援		市長公約	-		
取り組みの柱	文化芸術情報の効果的な発信や文化団体への活動支援などにより、市民誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を充実させるとともに、指定無形民俗文化財の保存伝承や後継者育成のため、引き続き保存団体などへの運営支援を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市補助金等交付規則、松山市文化芸術振興計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の文化・スポーツを総合的に振興するため、松山市文化・スポーツ振興財団の人員費・管理運営費を補助金として支出し、財団運営の安定を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市施設管理公社と松山市生涯学習振興財団を統合し、文化及びスポーツ等の振興を目的とする松山市文化・スポーツ振興財団が平成22年に設立されたことを機に、生涯学習振興財団に対する補助金を引き継ぎ、松山市文化・スポーツ振興財団に対する補助金とした。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市文化・スポーツ振興財団に対し、財団の運営について補助金を支出し支援を行っている。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	教室事業、講演等事業は参加費徴収あり		
始期・終期(年度)	平成 22	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検計時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		R3予算措置時期	当初
				項	目	社会教育総務費			
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					65,053		66,444		96,879
決算額(B)(単位:千円)					59,352		60,733		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		445		1,088	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			59,352		60,288		95,791	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金 60,733千円		松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金 96,879千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					コロナ対策費 444千円				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	5,701		5,711		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市文化・スポーツ振興財団に補助金を交付し、松山市の文化・スポーツを総合的に振興し、文化が薫りスポーツ活動に満ち溢れた魅力あるまちづくりを推進した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	補助金を交付し、松山市文化・スポーツ振興財団の人員費・管理運営費として、業務が円滑に進むよう有効的に活用することができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	文化・スポーツを総合的に振興し、文化が薫りスポーツ活動に満ち溢れた魅力あるまちづくりを推進し、創造性豊かで健全な市民生活の形成と潤いと活力にあふれた地域社会の発展に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響により3密対策が徹底できない事業は中止とした。また、実施した事業に関しても感染症対策のため定員削減などの規模縮小や、内容の変更を行った。令和4年度も新型コロナウイルスの影響があることが考えられるので、感染対策に対応した事業実施が必要である。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	令和4年度も新型コロナウイルスの影響があることが考えられるので、感染状況を考慮したうえで各事業の実施判断を行う。また、実施する場合は感染対策を徹底する。		
R4年度の目標	文化・スポーツを総合的に振興し、文化が薫りスポーツ活動に満ち溢れた魅力あるまちづくりを推進するため、47件の事業を実施する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	松山市の文化・スポーツの振興を推進する松山市文化・スポーツ振興財団の人員費及び管理運営費を補助し、魅力あるまちづくりを推進する。		

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 章一	リダー名	主幹	担当者名	主事 宇都宮 大地
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	文化・ことば課	担当グループ名	文化振興・施設担当	連絡先	948-6634
	部等長名	吉田 健二	課等長名	石橋 美幸	リダー名	主査	担当者名	主事 安井 李江

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	44211	文化スポーツ振興事業補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			重点プロジェクト	-		
施策	文化芸術の振興と活用			主な取り組み	-		
主な取り組み	文化芸術活動の継承・推進及び支援		市長公約	-			
取り組みの柱	文化芸術情報の効果的な発信や文化団体への活動支援などにより、市民誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を充実させるとともに、指定無形民俗文化財の保存伝承や後継者育成のため、引き続き保存団体などへの運営支援を行います。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市補助金等交付規則、松山市文化芸術振興計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市・文化スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ振興事業に対して補助金を支出し、本市の文化・スポーツの総合的な振興を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市施設管理公社と松山市生涯学習振興財団を統合し、文化及びスポーツ等の振興を目的とする松山市文化・スポーツ振興財団が平成22年に設立されたことを機に、生涯学習振興財団に対する補助金を引き継ぎ、松山市文化・スポーツ振興財団に対する補助金とした。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	松山市文化・スポーツ振興財団に対し、財団が実施する事業について補助金を支出し支援を行っている。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	教室事業、講演等事業は参加費徴収あり			
始期・終期(年度)	平成	22	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		R3予算措置時期	当初
				項	目	社会教育総務費			
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				5,090		5,718		25,937	
決算額(B)(単位:千円)				2,650		2,523			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			2,650		2,523		25,937	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						文化スポーツ振興事業補助金 2,523千円		文化スポーツ振興事業補助金 25,937千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		2,440		3,195	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市文化・スポーツ振興財団の文化・スポーツ事業に補助金を交付し、市民に文化・スポーツに触れる機会を提供することで、文化・スポーツを総合的に振興し、文化が薫りスポーツ活動に満ち溢れた魅力あるまちづくりを推進した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	主な補助金文化事業として、昨年度実施できなかった「キッズジョブまつやま2021」を、感染症対策を講じて実施した。 また、新規事業「新文化創造事業」の一環として中島小・中学校でアウトリーチを行い、市民会館でもワークショップを行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		事業を通して市民の文化・スポーツ活動の活性化が図られている。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害課題となっている事項	・新型コロナウイルスの影響により3密対策が徹底できない事業は中止とした。また、実施した事業に関しても感染症対策のため定員削減などの規模縮小や、内容の変更を行った。 令和4年度も新型コロナウイルスの影響があることが考えられるので、感染対策に対応した事業実施が必要である。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		令和4年度も新型コロナウイルスの影響があることが考えられるので、感染状況を考慮したうえで各事業の実施判断を行う。また、実施する場合は感染対策を徹底する。	
R4年度の目標	文化・スポーツを総合的に振興し、文化が薫りスポーツ活動に満ち溢れた魅力あるまちづくりを推進するため、松山市文化・スポーツ振興財団で28件の補助事業を実施する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		松山市文化・スポーツ振興財団が行う、本市の文化、スポーツの振興を図る事業(新規事業2件を含む)に補助金を支出する。 また、松山市スポーツ協会との合併を機に、松山市文化・スポーツ振興財団で、スポーツを始めつつなげくりから、運動能力向上、専門種目の選択、競技力向上、生涯スポーツの推進まで、市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、心身の健康を促進できる総合的な事業を展開する。	